

# 地域森林計画の樹立及び変更について

## ～令和4年度第2回北海道森林審議会諮問事項～

令和4年12月  
北海道

# [説明内容]

1. 地域森林計画について
2. 地域森林計画の樹立について
  - (1)後志胆振地域森林計画区
  - (2)石狩空知地域森林計画区
  - (3)上川北部地域森林計画区
3. 地域森林計画の変更について

# 1. 地域森林計画について

## 地域森林計画

森林計画区(全道13計画区)別に5年ごとに10年を1期とした計画で、森林の整備及び保全の目標等を明らかにするとともに、市町村森林整備計画の策定に当たっての指針となる計画。

### 【主な計画事項】

- ・対象とする森林の区域
  - ・森林の整備及び保全に関する事項
  - ・伐採立木材積等伐採に関する事項
  - ・造林面積その他造林に関する事項
  - ・間伐立木材積等間伐及び保育に関する事項
  - ・公益機能別施業森林の整備に関する事項
  - ・林道開設等その他林産物の搬出に関する事項
  - ・森林の保護に関する事項
  - ・森林の土地の保全に関する事項
  - ・保安施設に関する事項
- 等

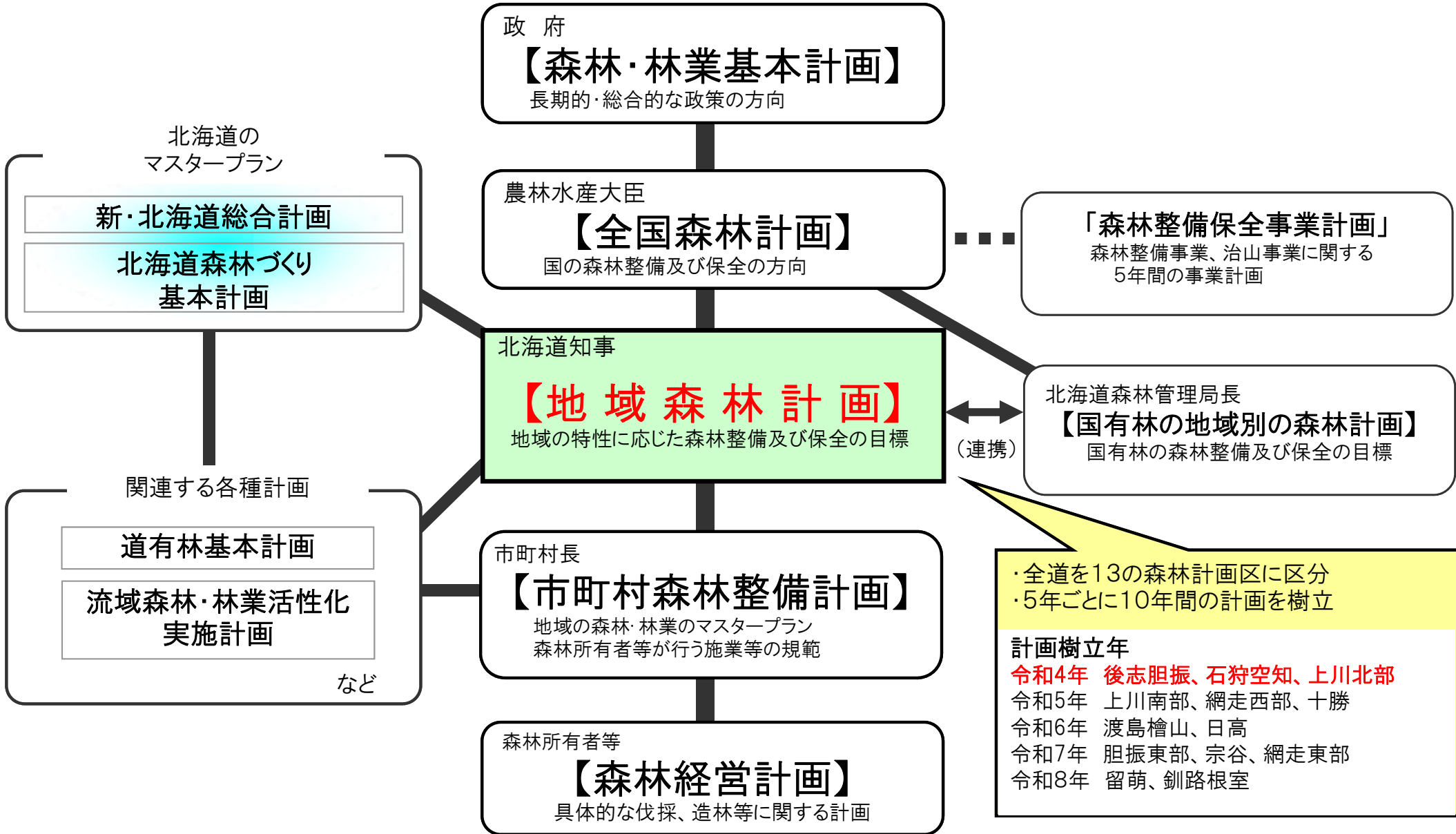
### 森林審議会への諮問

都道府県知事は、(中略)当該地域森林計画の案について、都道府県森林審議会及び関係市町村長の意見を聴かなければならない。(後略)

(森林法第6条第3項)

# 1. 地域森林計画について

## 森林計画制度の体系

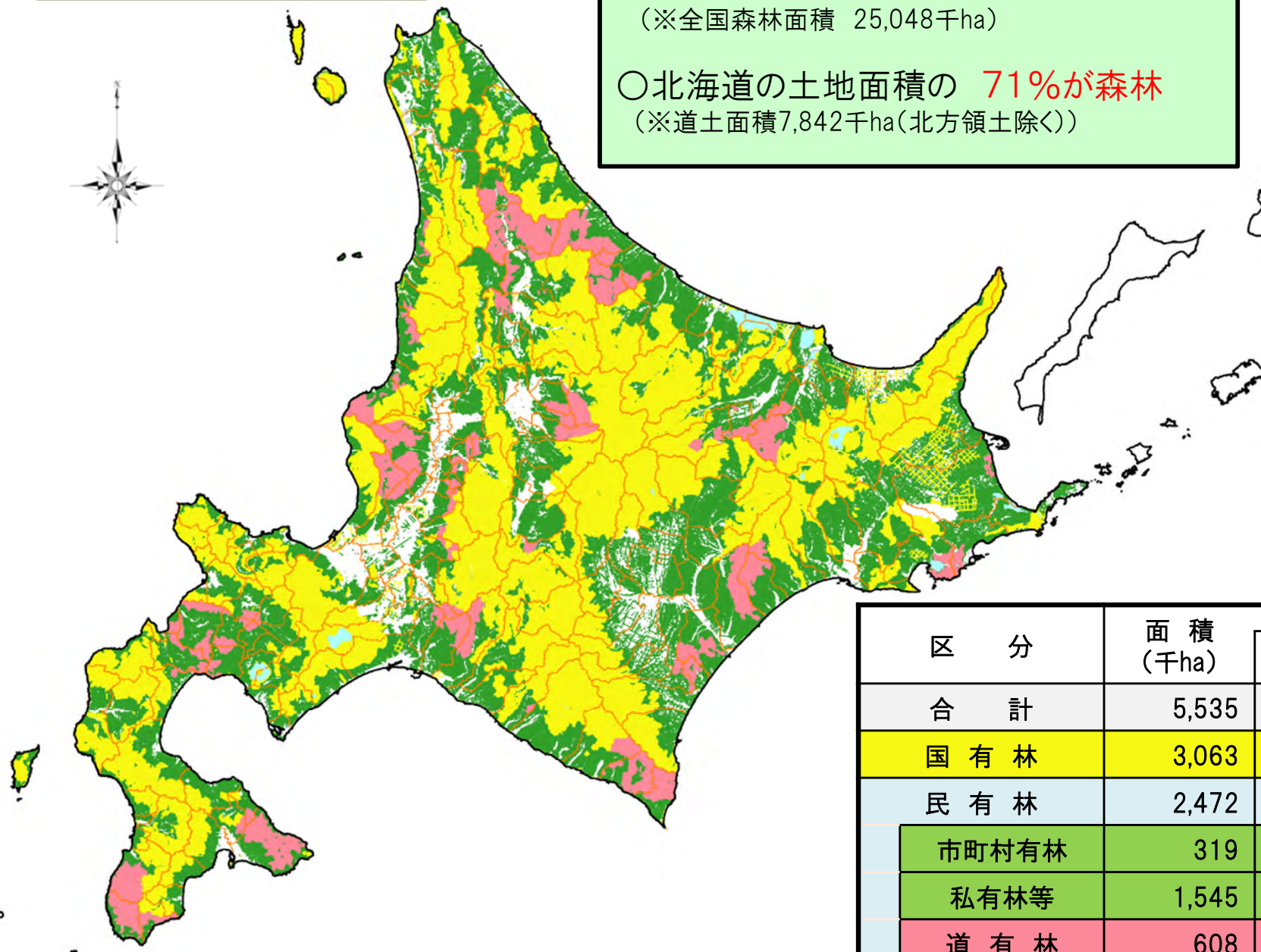


# 1. 地域森林計画について

## 北海道の森林

○全国の森林面積の **22%が北海道**  
 (※全国森林面積 25,048千ha)

○北海道の土地面積の **71%が森林**  
 (※道土面積7,842千ha(北方領土除く))



国有林  
 市町村有林・私有林等  
 道有林

区 分	面 積		蓄 積	
	(千ha)	割合(%)	(千m3)	割合(%)
合 計	5,535	100	836,942	100
国 有 林	3,063	55	447,979	54
民 有 林	2,472	45	388,963	46
市町村有林	319	6	57,049	7
私有林等	1,545	28	230,973	28
道 有 林	608	11	100,941	12

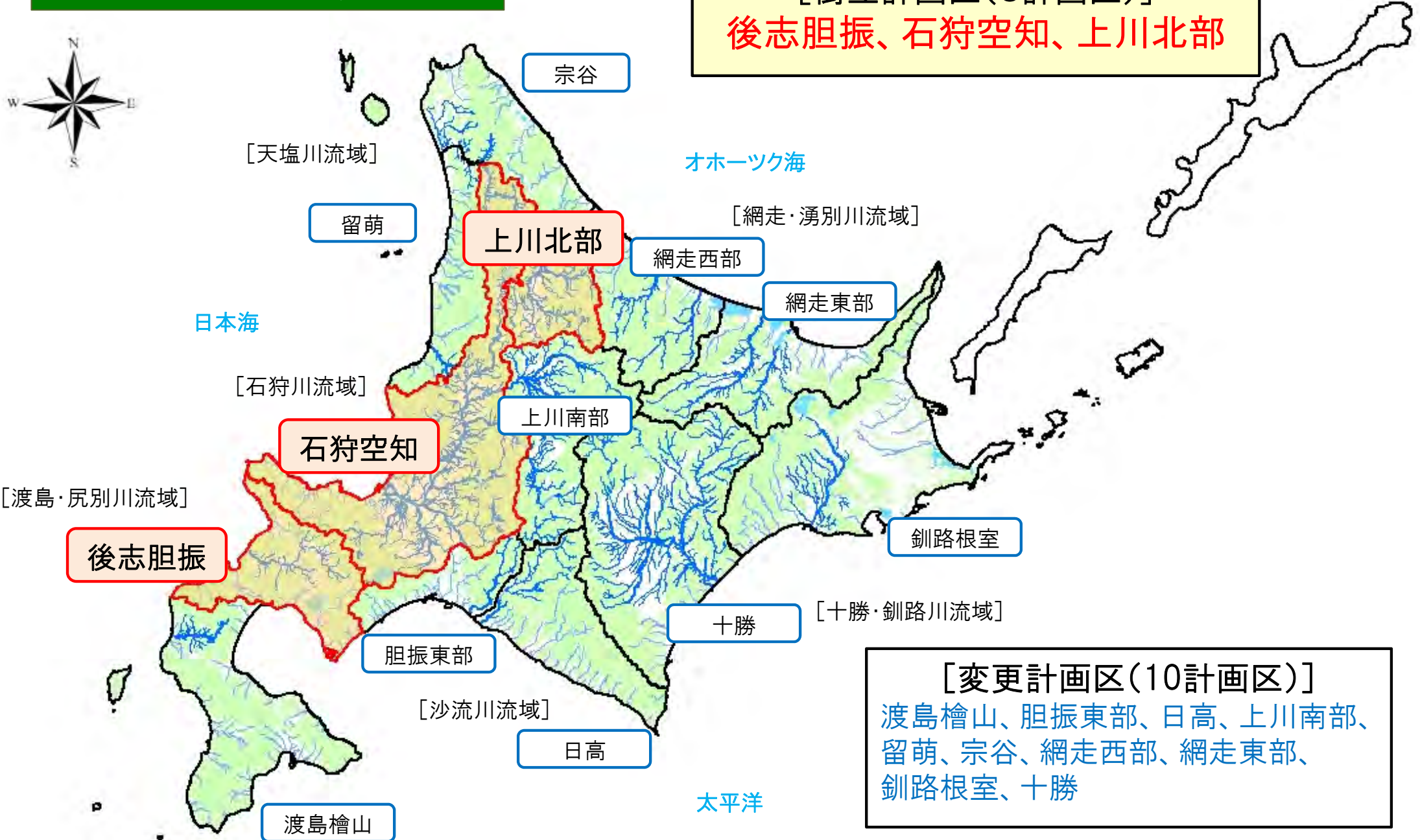
(令和3年4月1日現在)



# 1. 地域森林計画について

## 「樹立区」と「変更区」

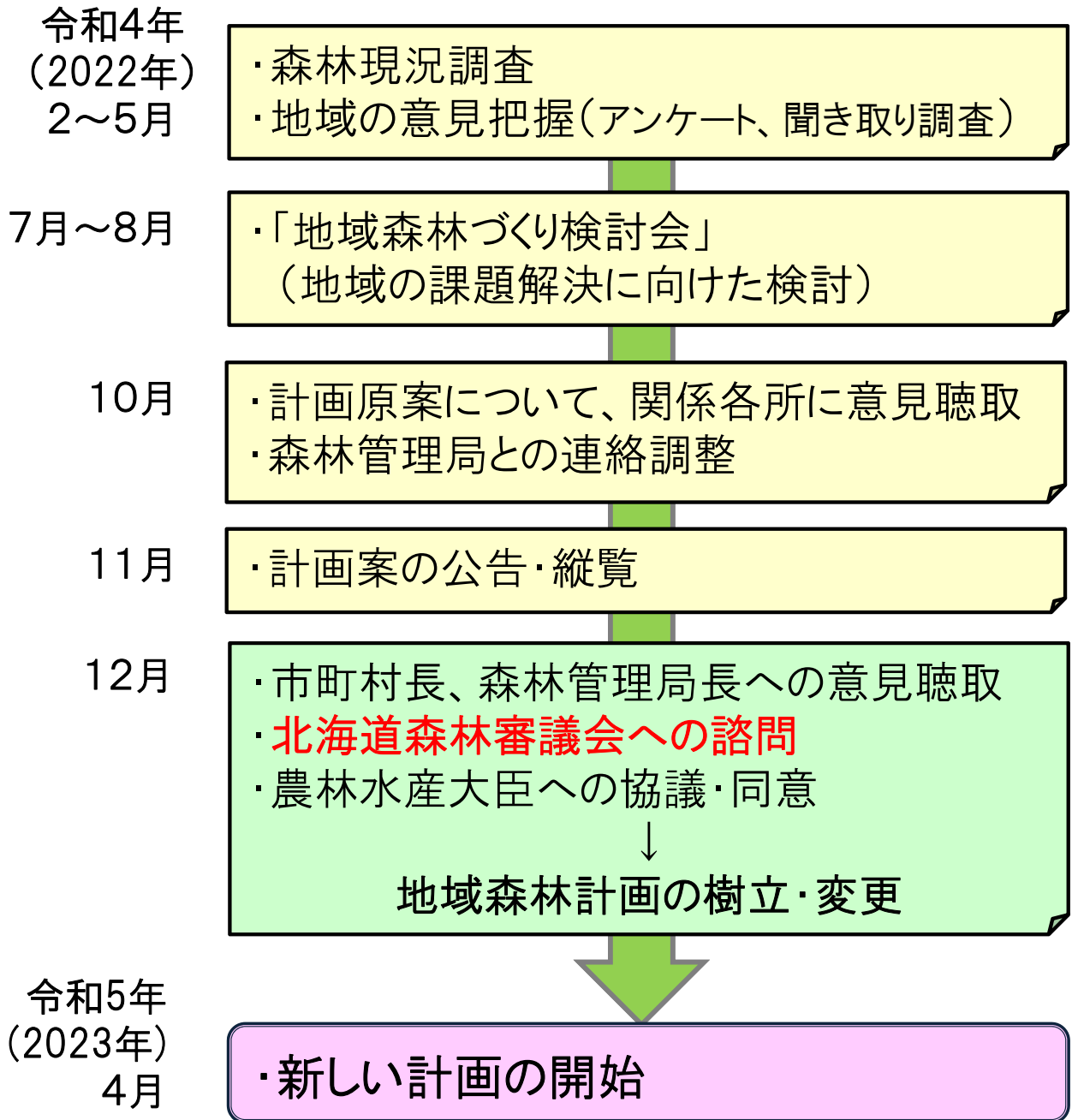
[樹立計画区(3計画区)]  
後志胆振、石狩空知、上川北部



[変更計画区(10計画区)]  
渡島檜山、胆振東部、日高、上川南部、留萌、宗谷、網走西部、網走東部、釧路根室、十勝

# 1. 地域森林計画について

## 地域森林計画策定の流れ



[検討会及び説明会での参加状況]

計画区	開催日	地域森林づくり検討会	
後志胆振	7/22	(胆振会場)	30名
	7/28	(後志会場)	25名
石狩空知	7/25	(空知会場)	53名
	8/4	(石狩会場)	43名
上川北部	8/1	(上川会場)	41名
合計			192名




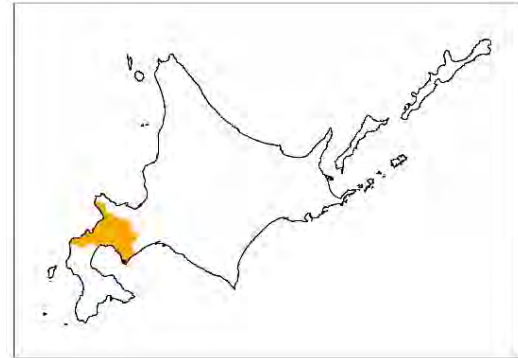
(石狩会場)

## 2. 地域森林計画(案)について


### 後志胆振地域森林計画区

#### 地域の概要


地勢	北海道の中央から南西部に位置し、後志総合振興局管内中南部と胆振総合振興局管内西部を区域。	
気候	年平均気温 約 7.9℃ 年最深積雪 約110cm	年間平均降水量 約1,279mm
構成	3市12町5村	
人口	約237千人(令和2年国勢調査) 全道の5%	



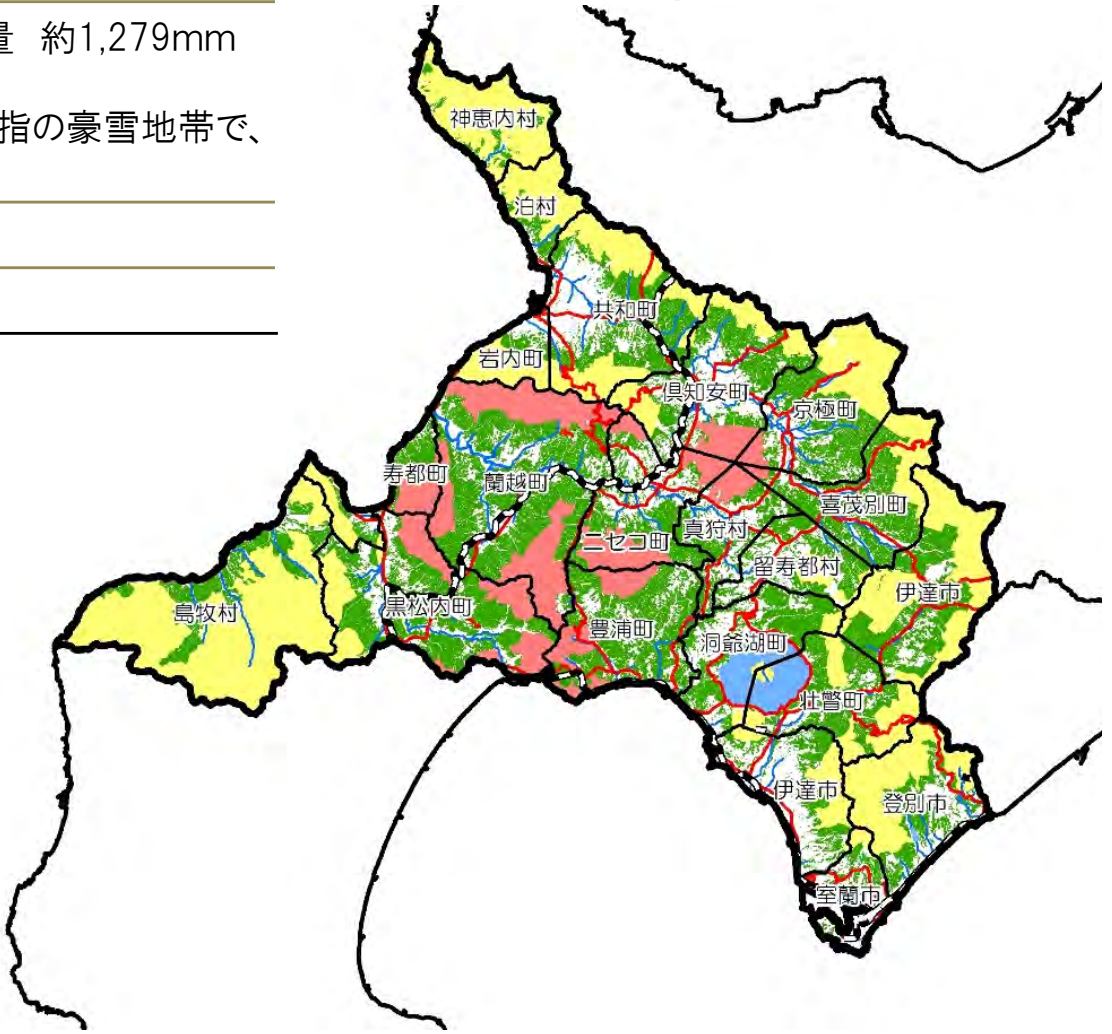
**農業**  
水稻、畑作、果樹、酪農、畜産など多岐にわたり、「北海道農業の縮図」と呼ばれる地域。



**漁業**  
日本海の豊富な魚種の沿岸操業。噴火湾のホタテ養殖に見られる栽培漁業。



**その他**  
温泉、スキー、登山など道内有数の観光地。





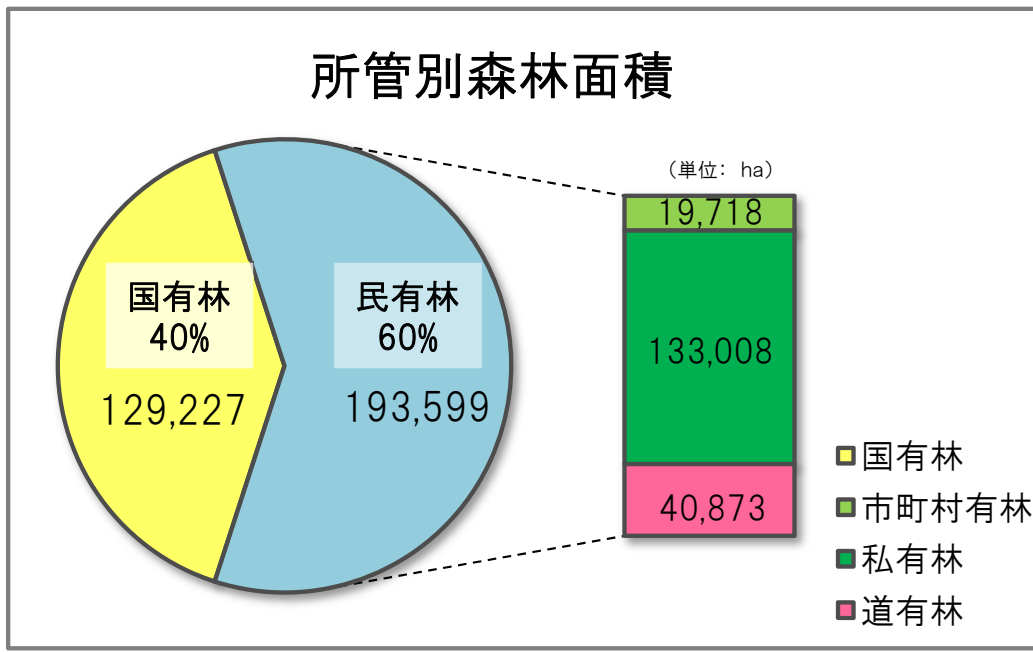
## 2. 地域森林計画(案)について

### 後志胆振地域森林計画区

#### ■ 森林・林業の概要

(令和3年3月31日現在)

- 森林面積 : 323千ha (総土地面積の73%)
- 民有林面積 : 194千ha (計画区の森林の60%)
- 民有林蓄積 : 20,429千m<sup>3</sup> (ha当たり蓄積 111m<sup>3</sup>)
- 伐採材積 : 162千m<sup>3</sup> (うち民有林 74%)
- 森林経営計画認定面積 : 114千ha (認定率 59%)



#### ■ 林業事業体の概要

(令和3年3月31日現在)

区分	森林組合	造林業	素材生産業	木材・木製品製造業		
				製材	チップ	その他
後志胆振	3	20	14	4	5	0
全道	79	386	376	159	190	67



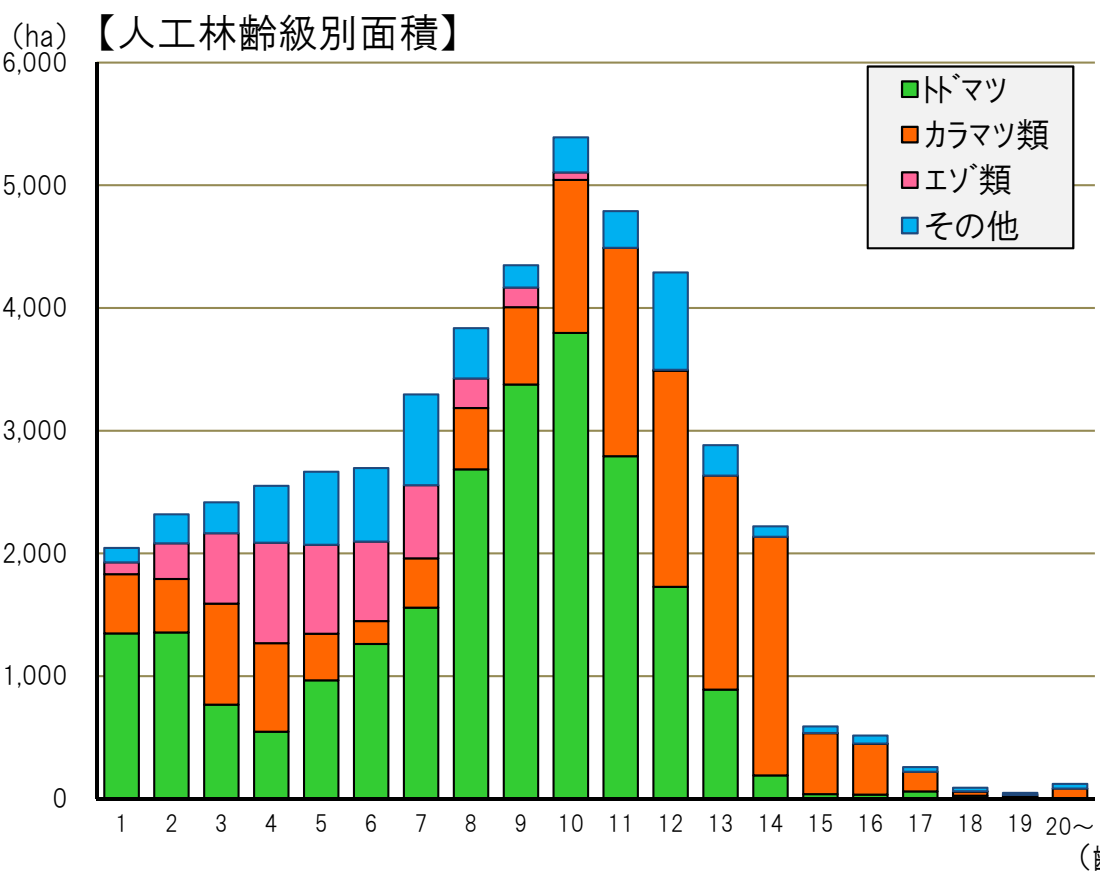
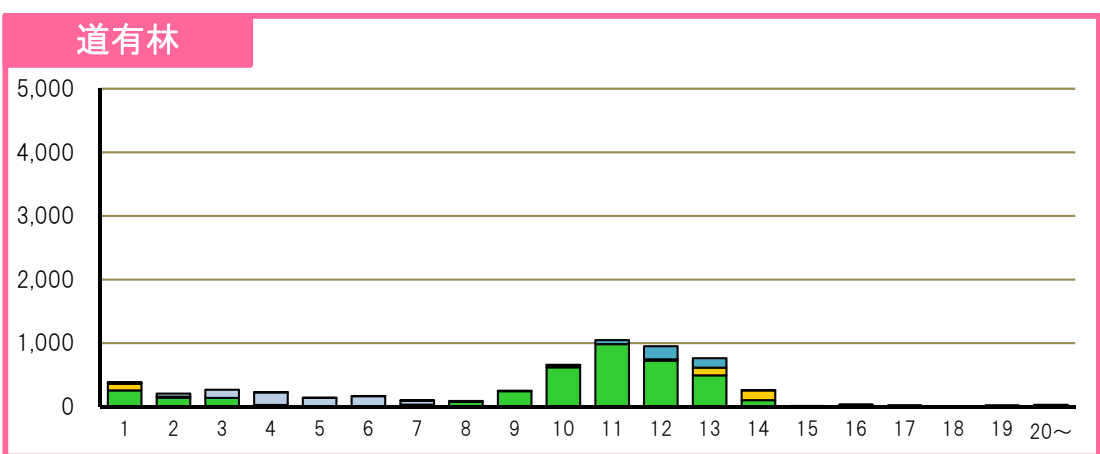
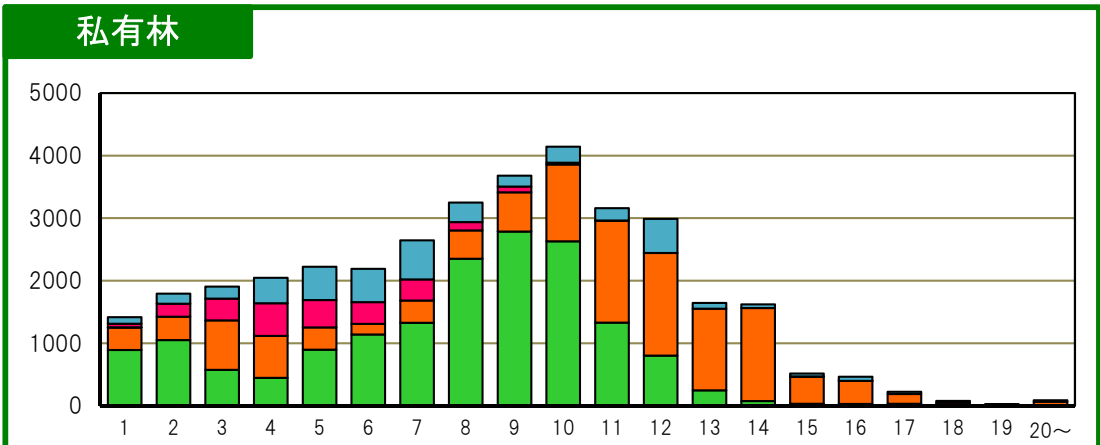
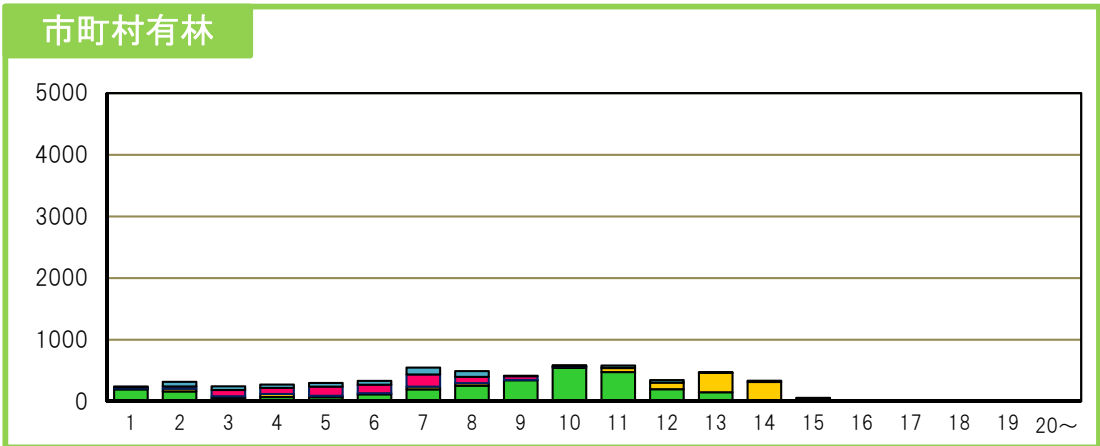
# 2. 地域森林計画(案)について

## 後志胆振地域森林計画区

区分	市町村有林	私有林等	道有林	計
人工林	5,600 ha	36,107 ha	5,658 ha	47,365 ha
天然林	13,627 ha	92,094 ha	34,534 ha	140,255 ha
無立木地	491 ha	4,807 ha	681 ha	5,979 ha
計	19,718 ha	133,008 ha	40,873 ha	193,599 ha

※端数処理の関係上、縦横の合計が一致しない場合がある

(令和3年3月31日現在)



## 2. 地域森林計画(案)について

### 後志胆振地域森林計画区

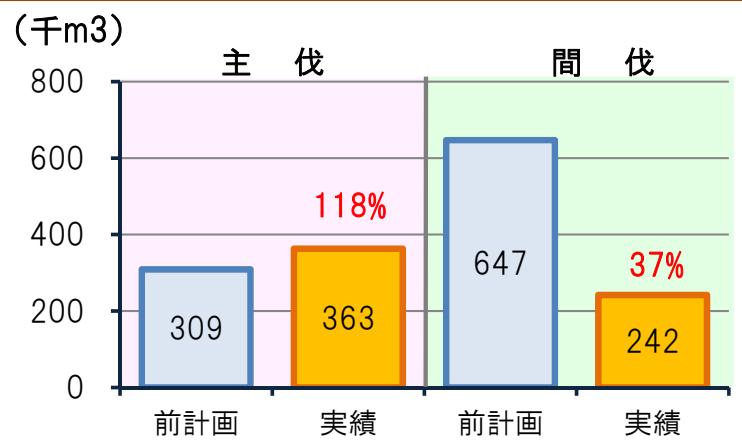
### 実績及び評価 (平成30年～令和4年)

#### 伐採



**【主伐】**  
おおむね計画どおり実施。

**【間伐】**  
所有者不明及び不在村所有者が多いことから施業に繋がらず計画を下回った。

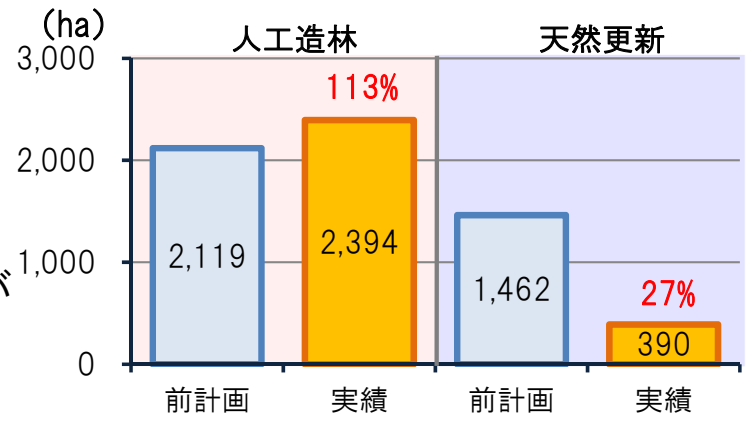


#### 造林



**【人工造林】**  
おおむね計画どおり実施。

**【天然更新】**  
天然林択伐が進まず、対象となる森林が少なかったことから計画を下回った。



#### 保安林の指定



保安林の指定は、後期計画に繰り越した箇所があったことから、計画を下回った。

(単位 面積:ha)

森林の種類	前計画	実績	実行率
水源涵養 <small>かん</small>	107	3	3%
災害防備	5	3	60%
計	112	6	5%

## 2. 地域森林計画(案)について

### 石狩空知地域森林計画区

#### ■ 地域の概要

地勢	北海道の中央部よりやや西寄りに位置し、北西部は増毛山地と天塩山地、東部は夕張山系、南部は馬追丘陵に囲まれ、西部は日本海に面する。
気候	年平均気温 約 7.7℃ 年間平均降水量 約1,216mm 年最深積雪 約123cm 概ね日本海側の気候で多雪地帯だが、地域によっては太平洋側の気候や内陸性の気候の特徴を併せ持つ。
構成	17市20町2村
人口	約2,818千人(令和2年国勢調査) 全道の54%



#### 農業

空知管内は稲作中心のほか、野菜・花き等の様々な農業を展開。石狩管内は稲作と畑作の複合経営が進展、北後志は果樹栽培が盛ん。



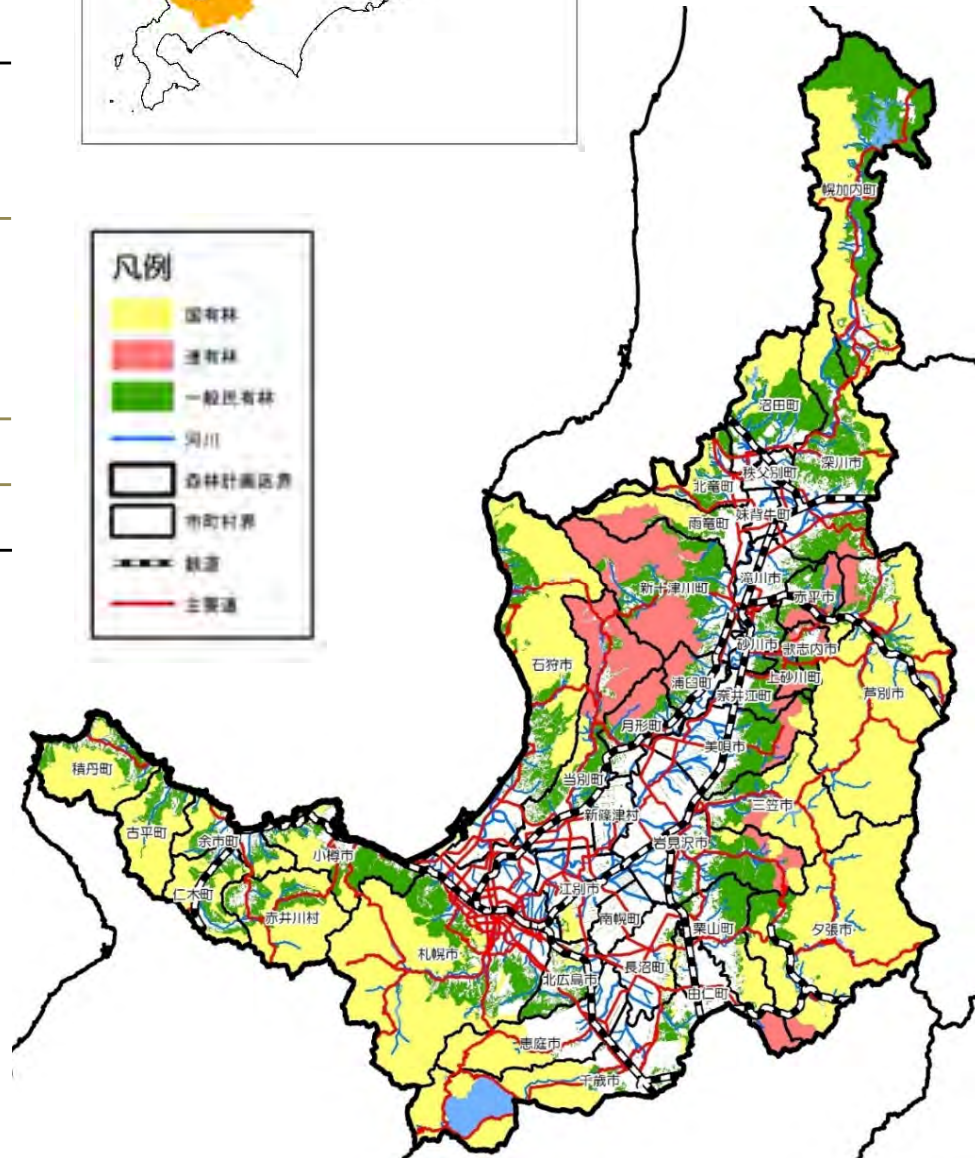
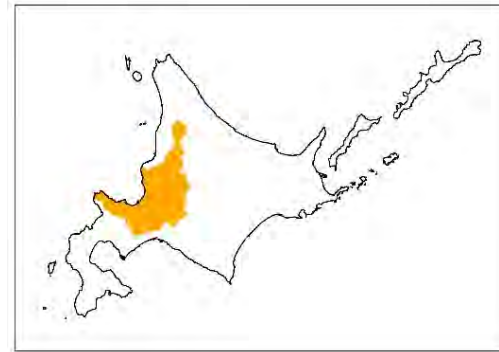
#### 漁業

日本海沿岸漁業が中心でホッケ・サケ・ニシンなどの漁業が盛ん。



#### その他

国際観光都市である札幌市や支笏洞爺国立公園などの魅力ある自然等、観光資源に恵まれ、国内外から多くの観光客が訪れる。





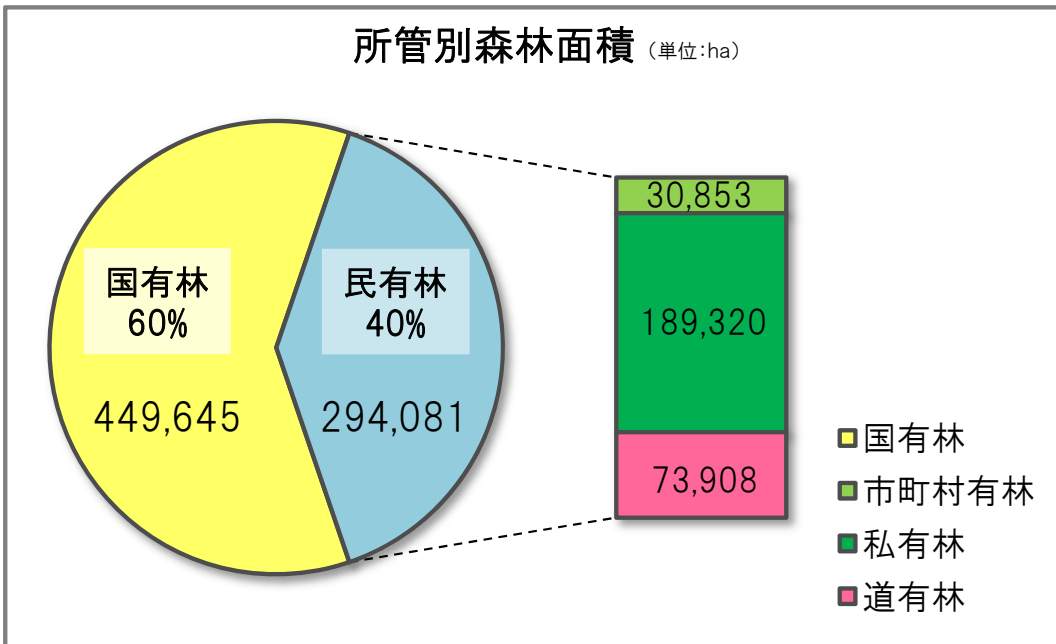
## 2. 地域森林計画(案)について

### 石狩空知地域森林計画区

#### ■ 森林・林業の概要

(令和3年3月31日現在)

- 森林面積 : 744千ha (総土地面積の65%)
- 民有林面積 : 294千ha (計画区の森林の40%)
- 民有林蓄積 : 43,267千m<sup>3</sup> (ha当たり蓄積 147m<sup>3</sup>)
- 伐採材積 : 483千m<sup>3</sup> (うち民有林 51%)
- 森林経営計画認定面積 : 203千ha(認定率 69%)



#### ■ 林業事業体の概要

(平成31年3月31日現在)

区分	森林組合	造林業	素材生産業	木材・木製品製造業		
				製材	チップ	その他
石狩空知	8	43	36	8	15	16
全道	79	386	376	159	190	67

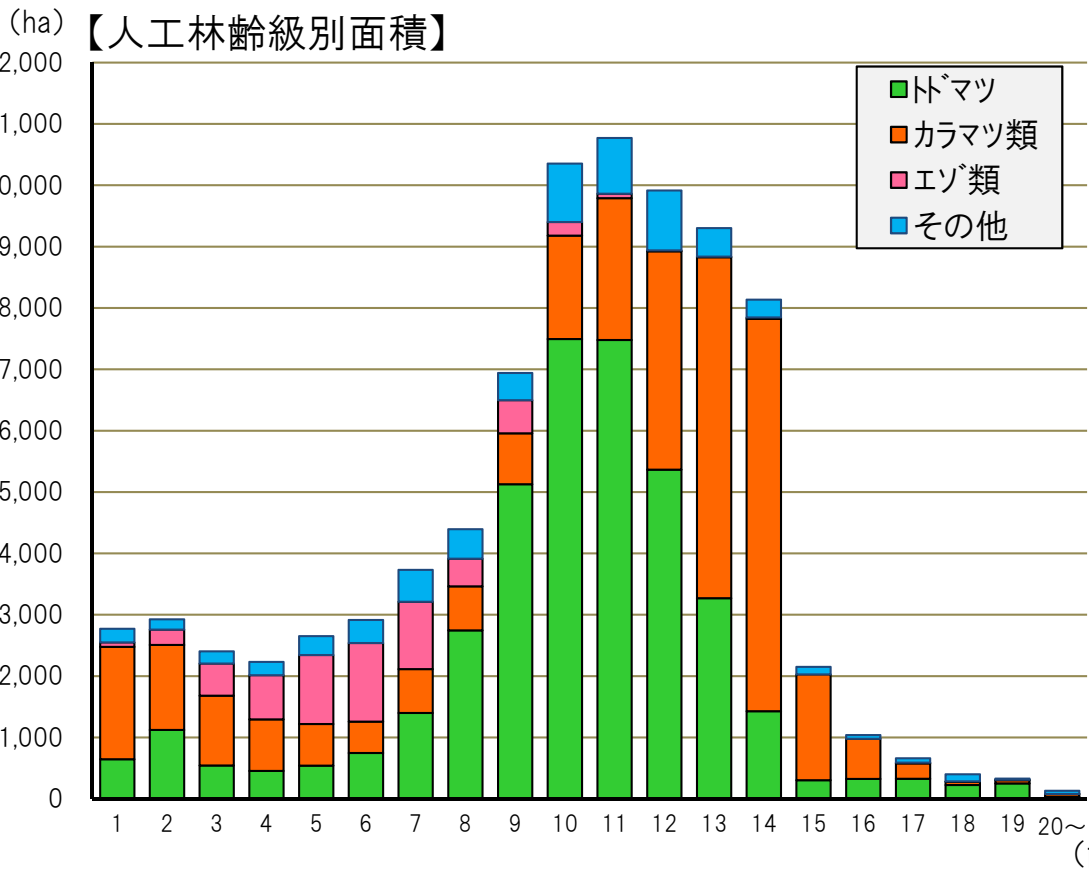
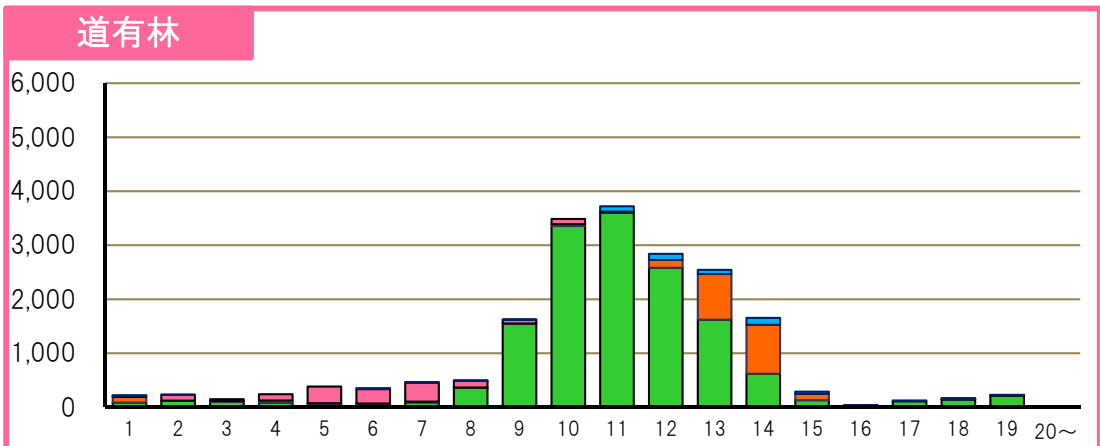
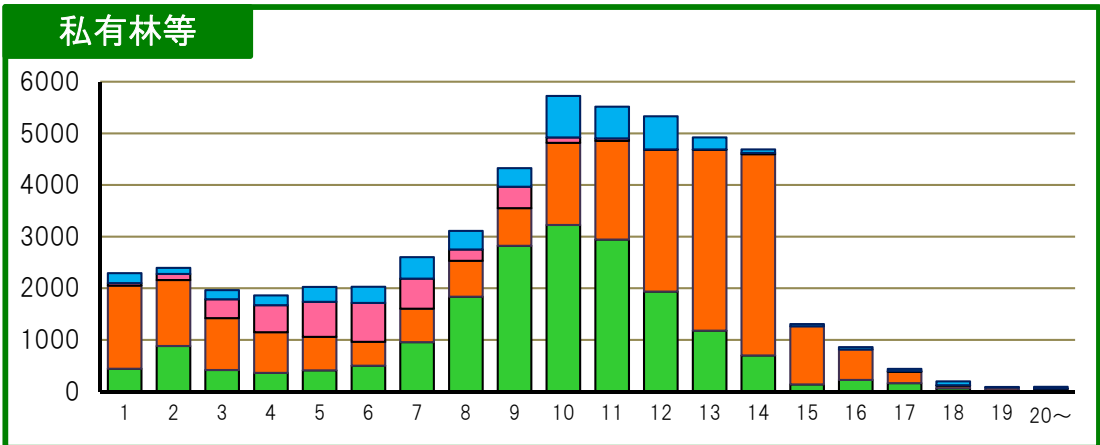
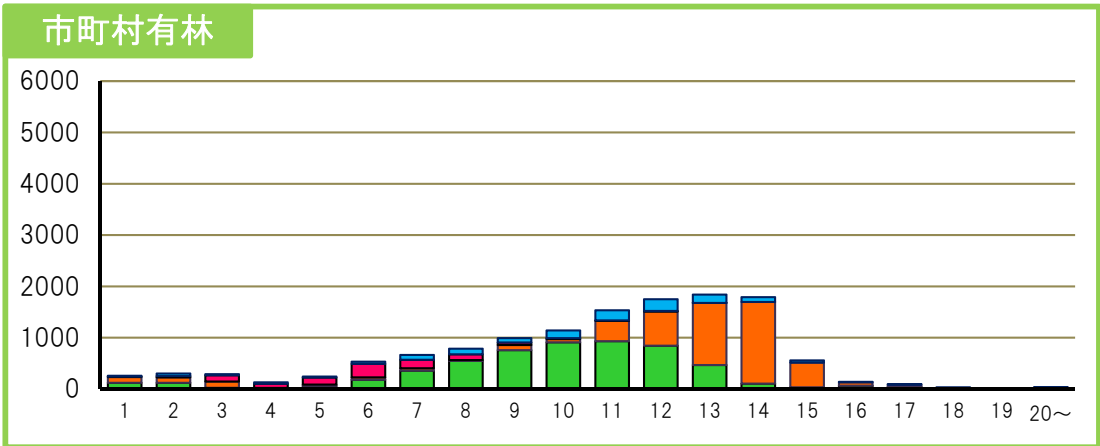


# 2. 地域森林計画(案)について

## 石狩空知地域森林計画区

区分	市町村有林	私有林等	道有林	計
人工林	13,118 ha	51,761 ha	19,274 ha	84,153 ha
天然林	16,884 ha	132,694 ha	52,506 ha	202,084 ha
無立木地	641 ha	5,033 ha	2,128 ha	7,802 ha
計	30,643 ha	189,488 ha	73,908 ha	294,039 ha

※端数処理の関係上、縦横の合計が一致しない場合がある (令和3年3月31日現在)



# 2. 地域森林計画(案)について

## 石狩空知地域森林計画区

## 実績及び評価

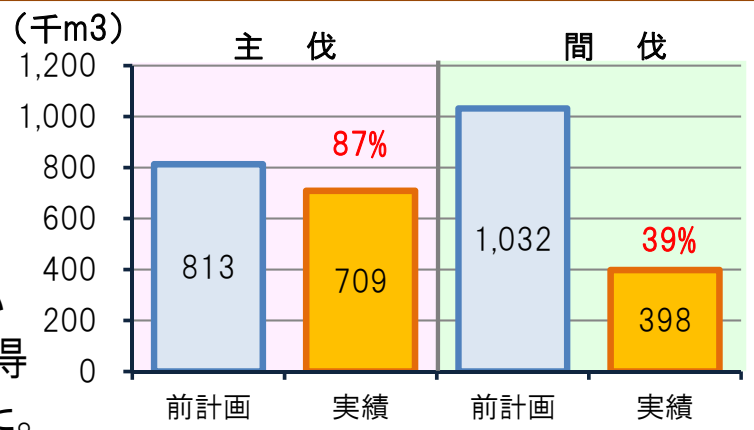
(平成30年～令和4年)

### 伐採



**【主伐】**  
人工林を主体に伐採が進んだが、天然林の伐採が進まず、計画を若干下回った。

**【間伐】**  
長期間放置され採算が合わない森林が多いことや都市近郊林では、伐採に対する理解が得られない等から施業が進まず、計画を下回った。

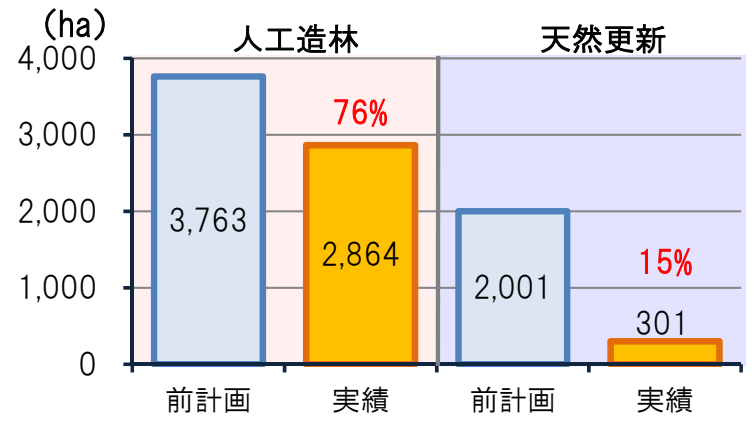


### 造林



**【人工造林】**  
未立木地への拡大造林が進まなかったことから、計画を下回った。

**【天然更新】**  
天然林の択伐が進まず、対象となる森林が少なかったことなどから、計画を下回った。



### 保安林の指定



保安林の指定は、計画期間内の指定が進んだため、計画を上回った。

(単位 面積:ha)

森林の種類	前計画	実績	実行率
水源涵養 <sup>かん</sup>	68	205	301%
災害防備		51	-
計	68	256	376%





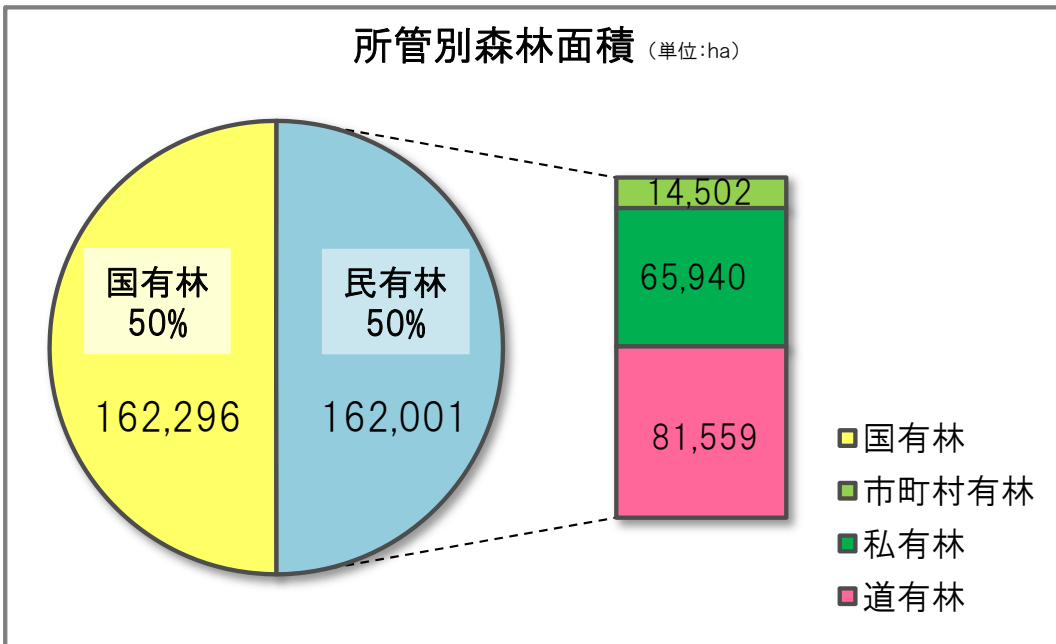
## 2. 地域森林計画(案)について

### 上川北部地域森林計画区

#### ■ 森林・林業の概要

(令和3年3月31日現在)

- 森林面積 : 324千ha (総土地面積の77%)
- 民有林面積 : 162千ha (計画区の森林の50%)
- 民有林蓄積 : 21,394千m<sup>3</sup> (ha当たり蓄積 132m<sup>3</sup>)
- 伐採材積 : 204千m<sup>3</sup> (うち民有林 70%)
- 森林経営計画認定面積 : 128千ha(認定率 79%)



#### ■ 林業事業体の概要

(平成31年3月31日現在)

区分	森林組合	造林業	素材生産業	木材・木製品製造業		
				製材	チップ	その他
上川北部	4	16	19	9	13	5
全道	79	386	376	159	190	67

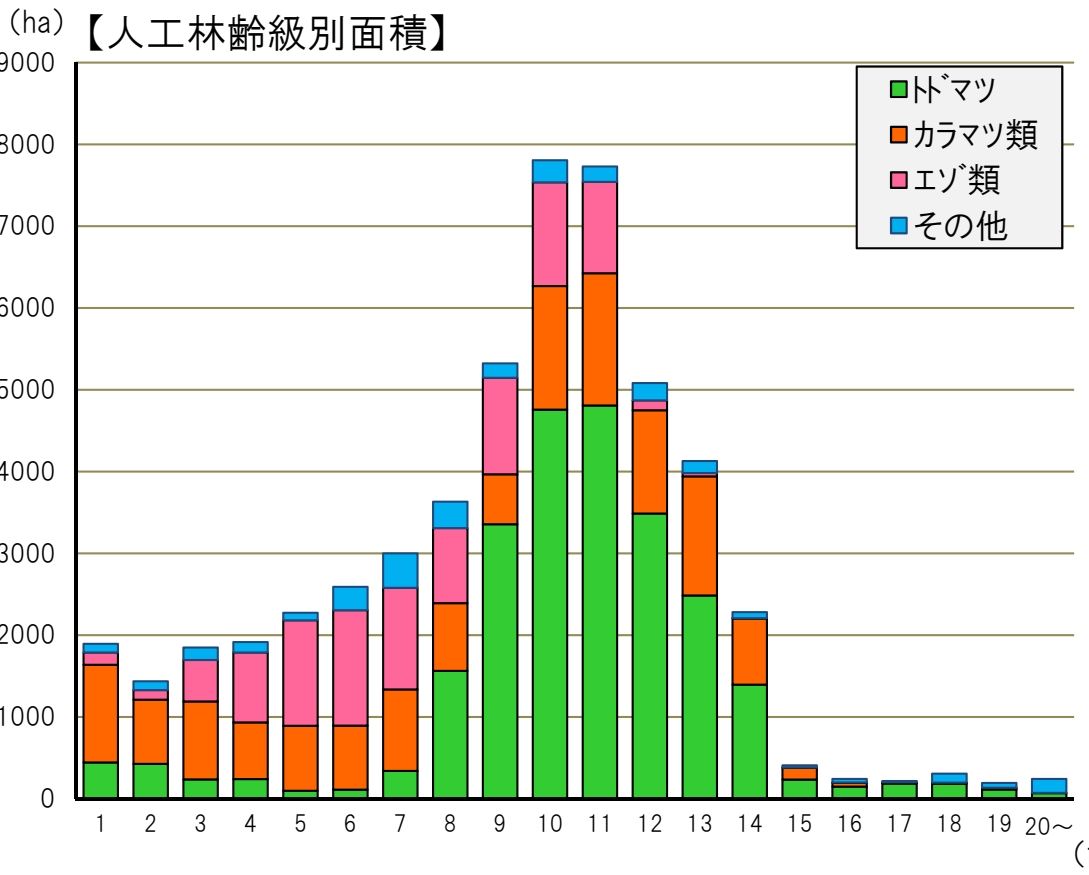
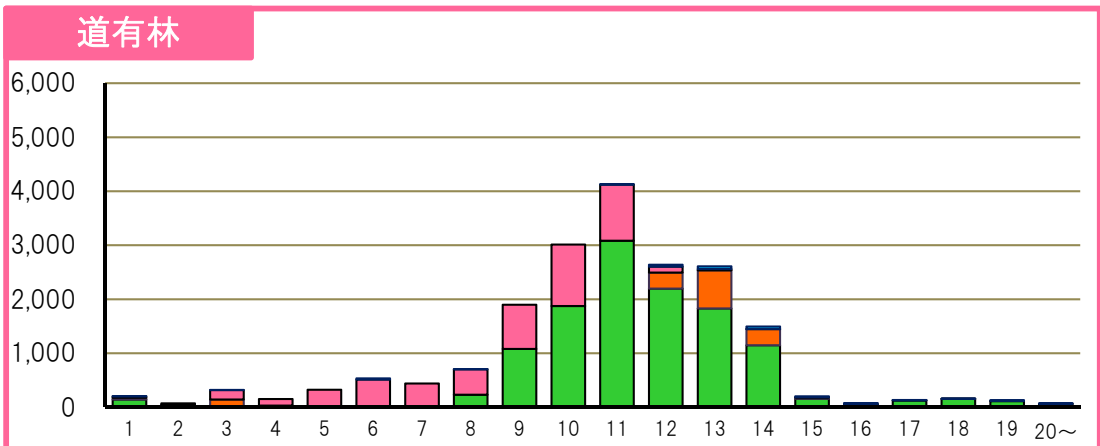
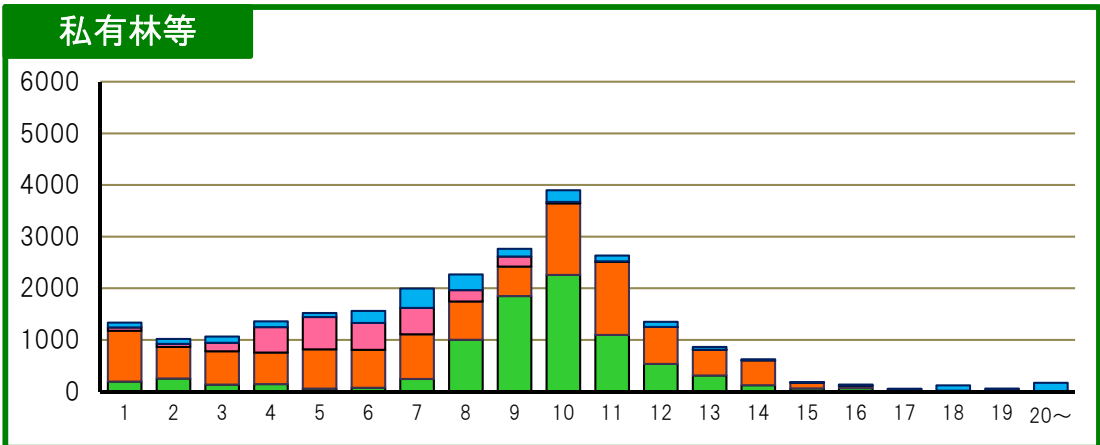
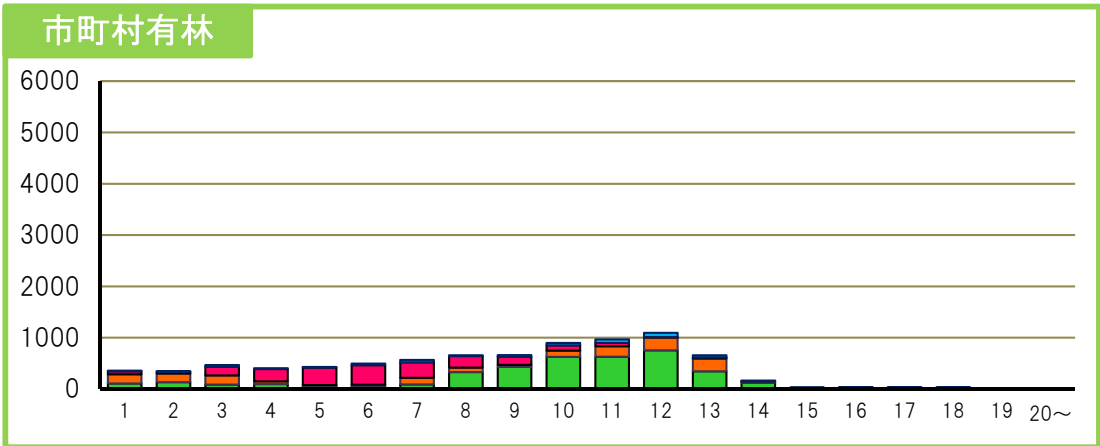


# 2. 地域森林計画(案)について

## 上川北部地域森林計画区

区分	市町村有林	私有林等	道有林	計
人工林	8,284 ha	24,967 ha	19,315 ha	52,566 ha
天然林	5,986 ha	40,279 ha	61,708 ha	107,973 ha
無立木地	254 ha	672 ha	536 ha	1,461 ha
計	14,524 ha	65,918 ha	81,559 ha	162,000 ha

※端数処理の関係上、縦横の合計が一致しない場合がある (令和3年3月31日現在)



## 2. 地域森林計画(案)について

### 上川北部地域森林計画区

### 実績及び評価

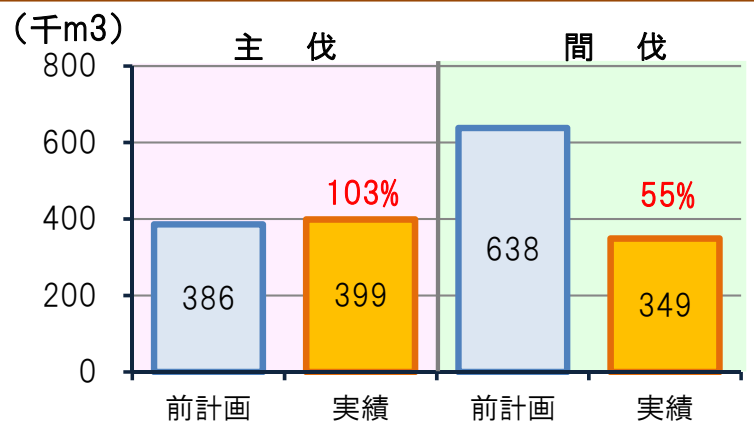
(平成30年～令和4年)

#### 伐採



**【主伐】**  
 利用期を迎えた人工林での伐採が進んだことから、計画どおり実行。

**【間伐】**  
 森林所有者から施業の合意が得られなかったことなどから、計画を下回った。

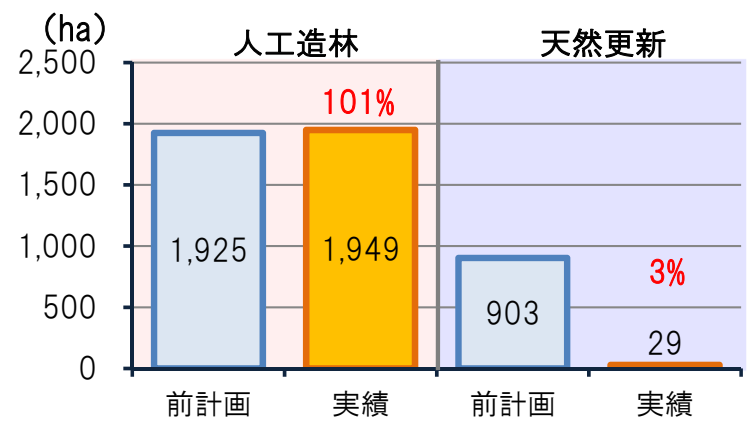


#### 造林



**【人工造林】**  
 伐採後の適切な更新及び未立木地への植栽が進んだため、計画どおり実行。

**【天然更新】**  
 天然林の択伐が進まず、対象となる森林が少なかったことなどから、計画を下回った。



## 2. 地域森林計画(案)について

### 地域における課題の把握(アンケート結果)

※複数回答

※重要課題を5つ選択・順位付けし、課題の重要度に応じて配点(1位から順に10、8、6、4、2点)したものを、合計が100点となるよう計算した。

重要と感じる地域の課題	後志胆振	石狩空知	上川北部
1 森林計画の策定及び実行管理	7点	16点	9点
2 適正な伐採と伐採後の更新の確保、着実な再生林の実施	16点	9点	17点
3 森林情報の的確な把握と運用	8点	10点	7点
4 優良な苗木の安定供給	2点	1点	13点
5 間伐などの適切な保育の実施	8点	11点	11点
6 造林・保育コストの低減と作業の省力化	3点	3点	7点
7 森林施業の基盤となる路網の整備	6点	7点	7点
8 市町村などが主体となった森林整備	7点	10点	0点
9 水資源の保全に資する森林の整備・保全	5点	1点	3点
10 森林被害への対策の実施	5点	3点	1点
12 事前防災・減災に向けた治山対策等の推進	13点	5点	0点
13 安定的な原木の供給と効率的な木材生産	2点	2点	4点
14 林業事業体の育成	2点	3点	0点
15 人材の育成・確保	11点	9点	17点
16 道産木材の利用促進	2点	4点	0点
17 木育の推進	2点	4点	3点
18 その他	2点	2点	2点



## 2. 地域森林計画(案)について

### 地域における課題の把握(聞き取り調査等)

#### ○市町村聞き取り調査等の結果

##### [後志胆振]

- ・利用期を迎える林分が増える一方、再造林が進まず、伐採跡地の増加や公益的機能の維持・発揮の懸念。
- ・造林、保育作業者が不足し、施業量に限界。
- ・小規模な面積の所有者が多く、また、不在村所有者や所有者不明の森林が多い。



(造林未済地)

##### [石狩空知]

- ・高齢林化が進んでおり、計画的な伐採・造林が必要。
- ・造林、保育作業者が不足し、施業量に限界。
- ・長期間放置されている森林が多く、採算が合わないため、施業ができない森林が多い。
- ・森林情報(現況や所有者情報等)が正確に把握されていない。



(長期間放置された森林)

##### [上川北部]

- ・森林所有者の意欲が低下。手が付けられていない森林が多い。
- ・森林施業になじみのない森林所有者への施業の推進に苦慮。
- ・造林、保育作業者が不足。求人への応募が少なく、定着しにくい。
- ・植栽適期の長い苗木を用いた省力的な植栽への移行が急務。



(コンテナ苗)

## 2. 地域森林計画(案)について

### 後志胆振地域森林計画区

#### 【地域の課題】

##### ・計画的な伐採・造林

利用期を迎える林分が増え、伐採量の増加が見込まれる中、伐採跡地の増加、公益的機能の維持・発揮、森林資源の保続が懸念。



#### 【取組方向】

- ◆ 道のクラウドシステムを活用し、地域での情報共有、森林所有者へ指導を行い伐採跡地解消に努める。
- ◆ 「特に効率的な施業が可能な森林」の区域設定を促進し、造林未済地発生を抑制。

##### ・担い手の育成・確保

林業従事者が少なく、約半数は50歳以上と若手が少ない状況。

今後、増加が見込まれる事業量への対応には、担い手の育成・確保、造林や保育作業の軽労化・省力化などの対策が必要。



- ◆ 「地域林業担い手確保推進会議」を中心とした、担い手の育成や確保
- ◆ 「北の森づくり専門学院」と連携を図り、実習フィールドの確保や学生の受入
- ◆ 軽労化や省力化について、併せて検討を実施

##### ・森林情報の的確な把握・運用

適切な森林管理を進めるためには、林分の現況、所有者情報の把握が必要。

ただし、本計画区では原野商法や分譲地による小規模区画の所有者や不在村所有者が多く、所有者情報の把握が困難。



- ◆ 関係機関と連携し、土地所有者届出制度について普及を図る。
- ◆ 市町村において、他部局や関係機関から情報を取得し、所有者の把握に努める。
- ◆ 得られた情報等から意向調査を行い、森林施業の推進に繋げる。

## 2. 地域森林計画(案)について

### 石狩空知地域森林計画区

#### 【地域の課題】

##### ・担い手の育成・確保

林業従事者の高齢化が進んでおり、若手の林業労働者の割合が低く、今後の事業量に対応するためには、担い手の育成・確保や造林・保育等の作業の軽労化や省力化が必要。



#### 【取組方向】

- ◆ 「地域担い手確保推進協議会」を中心とした、担い手の育成や確保
- ◆ 「北の森づくり専門学院」との連携、実習フィールドの確保や学生の受入
- ◆ 軽労化や省力化について、併せて検討を実施

##### ・長期間放置された森林の整備

高齢級林分における未施業林分の割合が高く、これら森林については、森林の持つ公益的機能を発揮させるためにも、更新・間伐等の適切な森林施業を実施していく必要。



- ◆ 意向調査により、森林経営計画の作成促進及び施業の集約化を促進
- ◆ 植栽費用の負担軽減や低コスト化・省力化の推進による造林面積の増加
- ◆ 森林環境譲与税などを有効に活用した森林整備

##### ・森林情報の適確な把握と運用

長期間放置された森林の整備を進めるためには、森林の現況や所有者情報、境界などの最新の森林情報を適確に把握する必要。



- ◆ ICTを活用した、効率的な森林の現況の把握
- ◆ 関係機関の連携(課税部局が所有する所有者情報を活用等)による、林地台帳の精度向上



## 2. 地域森林計画(案)について

### 上川北部地域森林計画区

#### 【地域の課題】

・森林所有者へのアプローチの強化  
収益を得るまでに長い年月やコストを要することなどから森林所有者の森林への関心が薄れているほか、相続により森林に馴染みのない森林所有者が増えてきており、施業が進んでいない。



#### 【取組方向】

- ◆ 意向調査の結果を踏まえ、森林経営計画への参画及び施業を推進
- ◆ 森林所有者が気軽に森林と向き合えるような取組の検討

・担い手の確保・定着の促進  
森林整備の担い手不足が課題となっており、求人への応募が少なく、採用後も定着しにくい。



- ◆ SNSを活用した林業PRや林業体験実習等による担い手の育成・確保
- ◆ 関係機関が連携し、地域の魅力発信及び離職原因を踏まえた対策の実施

・効率的かつ計画的な植栽  
植え付けの時期に労働力を確保できないことが課題であり、コンテナ苗を用いた計画的な植栽や、植え付けの労力を低減する取組を進める必要があるが、コンテナ苗は価格が高く、運搬に手間がかかる。



- ◆ 植栽費用の軽減や運搬の負担軽減の取組を推進し、コンテナ苗の利用を促進
- ◆ 低密度植栽の普及



## 2. 地域森林計画(案)について

### ○立木の標準伐期齢※1に関する指針

標準的な立木の伐採(主伐)の時期に関する指標

樹種		林齢
人工林	エゾマツ・アカエゾマツ	60
	トマツ	40
	カラマツ(グイマツとの交配種を含む)	30
	その他針葉樹	40
	カンバ・ドロノキ・ハンノキ(天然林を含む)	30
	ヤナギ※2	5
	その他広葉樹	40

※1 標準伐期齢  
樹木の平均成長量が最大となる林齢等を基準に定めた、地域の標準的な伐採(主伐)の時期に関する指標。

樹種		林齢
天然林	主として天然下種によって生立する針葉樹	60
	主として天然下種によって生立する広葉樹	80
	主としてぼう芽によって生立する広葉樹	25



※2 敷料等の木質バイオマス利用の促進を図るため短伐期で主伐を繰り返すヤナギ林に限ることとし、保安林及び保安施設地区並びに公益的機能別施業森林は除く

### [参考]森林施業の実施に関する基準

	水源涵養林 <sup>かん</sup>	山地災害防止林、生活環境保全林 保健文化機能等維持林		木材等生産林
		長伐期施業を 推進すべき森林	複層林施業を 推進すべき森林	
適正な林齢での主伐	標準伐期齢 +10以上	標準伐期齢のおおむね 2倍以上に相当する林齢 として市町村森林整備計画 において定めた林齢	標準伐期齢以上	標準伐期齢以上

## 2. 地域森林計画(案)について

### ○人工造林の標準的な方法に関する指針

主要樹種の植栽本数に関する指標

計画区	仕立ての方法	樹 種				
		カラマツ	トドマツ	アカエゾマツ	その他針	広葉樹
後志胆振	密仕立て	2,500本/ha	2,500本/ha	2,500本/ha	2,500本/ha	2,500本/ha
	中庸仕立て	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha
	疎仕立て	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha
石狩空知	密仕立て	2,500本/ha	2,500本/ha	2,500本/ha	2,500本/ha	2,500本/ha
	中庸仕立て	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha
	疎仕立て	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha
上川北部	密仕立て	2,500本/ha	2,500本/ha	2,500本/ha	2,500本/ha	3,500本/ha
	中庸仕立て	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha	2,000本/ha	2,500本/ha
	疎仕立て	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha	1,500本/ha



## 2. 地域森林計画(案)について

### ○間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法に関する指針

主要樹種ごとの標準的な間伐時期等に関する指標

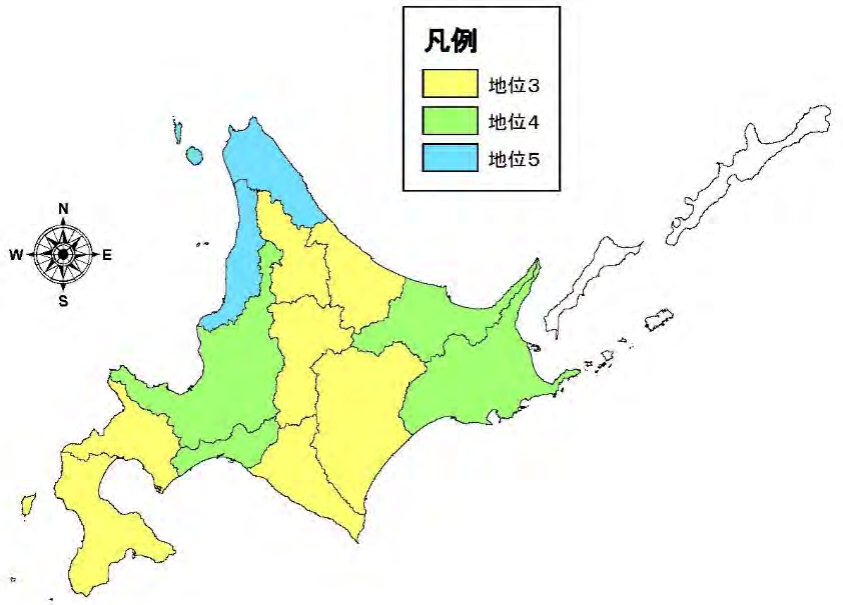
計画区	樹種	施業方法			間伐の時期(林齢)					間伐の方法	
		植栽本数	仕立て方法	主伐時の設定	初回	2回	3回	4回	5回	選木方法	間伐率(材積率)
後志胆振	カラマツ	2,000本/ha	中庸仕立て	450本/ha	24~28	34~38	46~50	—	—	定性及び列状	20~35%
	トドマツ	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	15~19	20~24	26~30	34~38	—	定性及び列状	20~35%
	アカエゾマツ	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	19~23	26~30	33~37	42~46	53~57	定性及び列状	20~35%
石狩空知	カラマツ	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	17~21	24~28	32~36	40~44	—	定性及び列状	20~35%
	トドマツ	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	16~20	23~27	31~35	42~46	—	定性及び列状	20~35%
	アカエゾマツ	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	21~25	27~31	35~39	45~49	58~62	定性及び列状	20~35%
上川北部	カラマツ	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	17~21	24~28	32~36	40~44	—	定性及び列状	20~35%
	トドマツ	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	15~19	20~24	26~30	34~38	—	定性及び列状	20~35%
	アカエゾマツ	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	22~26	29~33	39~43	51~55	64~68	定性及び列状	20~35%

## 2. 地域森林計画(案)について

○間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法に関する指針

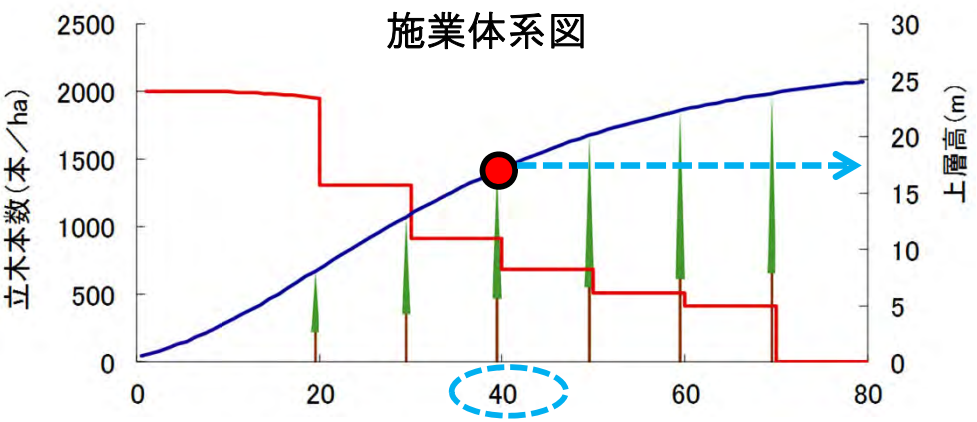
### ドマツの標準的な間伐時期等に関する指標の見直し

- ・道内2,035箇所のドマツ人工林に係る標準地調査結果を使用し、計画区単位(13計画区)での地位を設定。
- ・地位毎に作成したドマツの施業体系を基に、標準的な間伐時期等に関する指標を作成。



計画区名	地 位	
	新	旧
渡島檜山	3	3
後志胆振	3	4
胆振東部	4	5
日 高	3	2
石狩空知	4	3
上川南部	3	3
上川北部	3	4

計画区名	地 位	
	新	旧
留 萌	5	4
宗 谷	5	5
網走西部	3	3
網走東部	4	2
釧路根室	4	4
十 勝	3	3



[地位]  
地位指数23,21,19,17,15,13について、順に「1~6」で表したものの。

[地位指数]  
基準林齢(40年※)における主林木の上層高を示すもので、土壌・地質・気候などの環境因子によって異なる。  
※カラマツにあっては35年



## 2. 地域森林計画(案)について

○間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法に関する指針

### ドマツの標準的な間伐時期等に関する指標の見直し



計画区ごとのドマツの標準的な間伐時期等に関する指標

地位※	施業方法			間伐の時期 (林齢)				間伐の方法		
	植栽本数	仕立て方法	主伐時の設定	初回	2回	3回	4回	選木方法	間伐率 (材積率)	
3	旧	2,000本/ha	中庸仕立て	450本/ha	19~23	26~30	34~38	43~47	定性及び定量	20~35%
	新	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	15~19	20~24	26~30	34~38	定性及び列状	20~35%
4	旧	2,000本/ha	中庸仕立て	500本/ha	22~26	30~34	38~42	48~52	定性及び定量	20~35%
	新	2,000本/ha	中庸仕立て	400本/ha	16~20	23~27	31~35	42~46	定性及び列状	20~35%
5	旧	2,000本/ha	中庸仕立て	500本/ha	28~32	40~44	52~56	—	定性及び定量	20~35%
	新	2,000本/ha	中庸仕立て	600本/ha	18~22	27~31	38~42	—	定性及び列状	20~35%

(※)新地位3の森林計画区: 渡島檜山、後志胆振、日高、上川南部、上川北部、十勝  
 新地位4の森林計画区: 胆振東部、石狩空知、網走東部、釧路根室  
 新地位5の森林計画区: 留萌、宗谷

## 2. 地域森林計画(案)について

### 後志胆振地域森林計画区

### 計 画

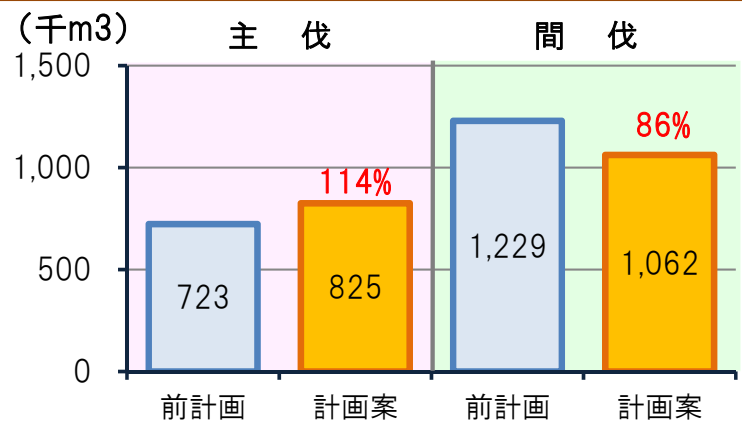
(令和4年～令和13年)

#### 伐 採



**[主 伐]**  
人工林の主伐対象資源が増加することなどから、前計画を上回る計画。

**[間 伐]**  
人工林が主伐期に移行し、対象資源が減少することなどから、前計画を下回る計画。

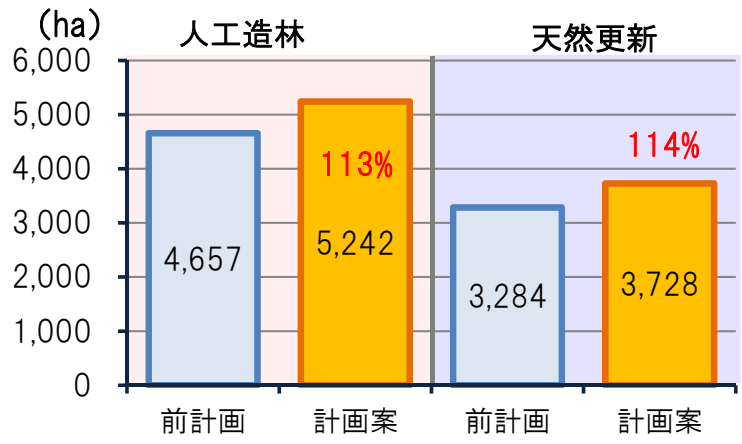


#### 造 林



**[人工造林]**  
主伐量の増加に伴い、更新面積が増加することから、前計画を上回る計画。

**[天然更新]**  
天然林択伐を実施し、育成複層林への誘導を推進することから、前計画を上回る計画。



#### 保安林の指定



水源の涵養<sup>かん</sup>や土砂流出の防備などの森林の機能が失われないように保安林の指定を計画的に実施。

(単位 面積:ha)

森林の種類	指定計画
水源涵養 <sup>かん</sup>	126
災害防備	4

## 2. 地域森林計画(案)について

### 石狩空知地域森林計画区

### 計 画

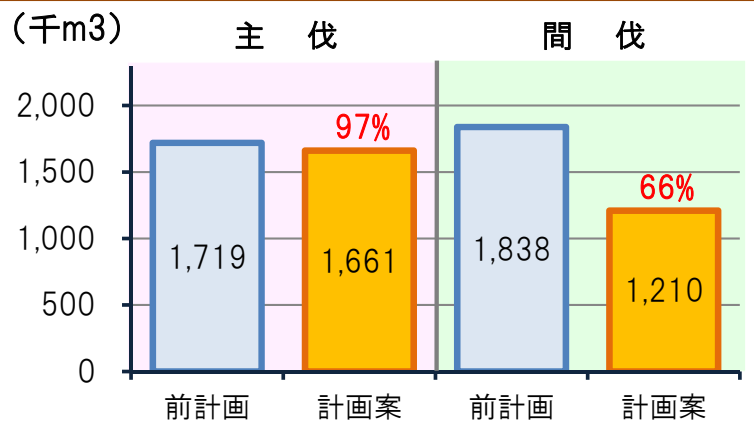
(令和4年～令和13年)

#### 伐 採



**[主 伐]**  
引き続き主伐期を迎えた人工林資源が充実していることから、前計画と同程度の計画。

**[間 伐]**  
人工林が主伐期に移行し、対象資源が減少していることなどから、前計画を下回る計画。

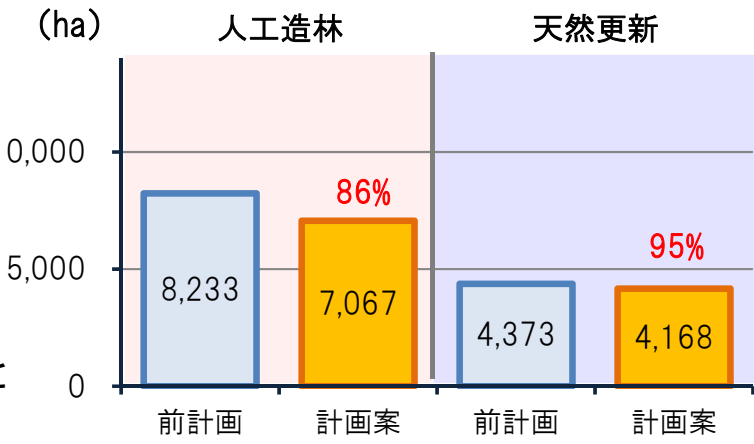


#### 造 林



**[人工造林]**  
前期の実績を踏まえ、未立木地の拡大造林のペースを見直したことから、前計画を下回る計画。

**[天然更新]**  
引き続き、天然林択伐を実施し、天然林における育成複層林への誘導を推進することから、前計画と同程度の計画。



#### 保安林の指定



水源の涵養<sup>かん</sup>や土砂流出の防備などの森林の機能が失われないように保安林の指定を計画的に実施。

(単位 面積:ha)

森林の種類	指定計画
水源涵養 <sup>かん</sup>	846
災害防備	908

## 2. 地域森林計画(案)について

### 上川北部地域森林計画区

### 計 画

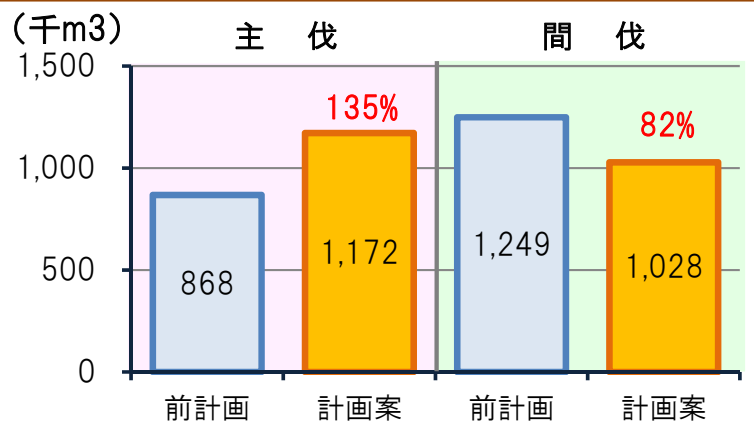
(令和4年～令和13年)

#### 伐 採



**[主 伐]**  
人工林の主伐対象資源が増加することなどから、前計画を上回る計画。

**[間 伐]**  
人工林が主伐期に移行し、対象資源が減少することなどから、前計画を下回る計画。

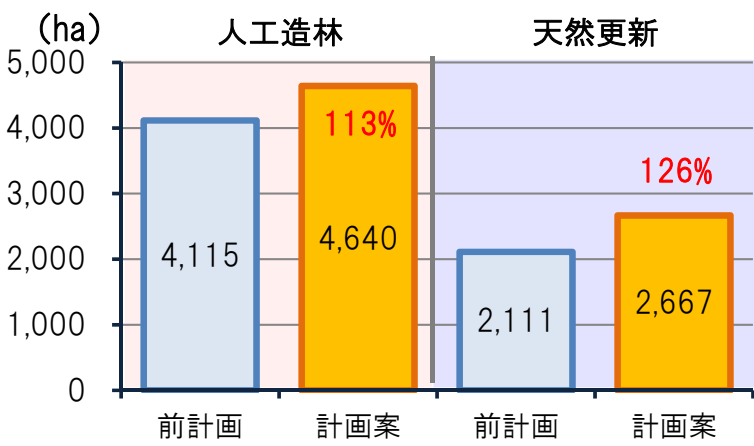


#### 造 林



**[人工造林]**  
主伐量の増加に伴い、更新面積が増加することから、前計画を上回る計画。

**[天然更新]**  
天然林択伐を実施し、育成複層林への誘導を推進することから、前計画を上回る計画。





### 3. 地域森林計画変更計画(案)について

## 地域森林計画変更計画(案)の概要

#### □ 計画の対象とする森林の区域の変更

・森林への編入、森林以外への転用

計画区	増 減	主な増減事由
渡島檜山	▲13 ha	電力施設用地等への転用
胆振東部	20 ha	原野等からの編入
日高	108 ha	草地等からの編入
上川南部	▲107 ha	畑等への転用
留 萌	▲7 ha	照査による精度向上のため
宗 谷	▲59 ha	照査による精度向上のため
網走西部	50 ha	原野等からの編入
網走東部	▲90 ha	採石地等への転用
釧路根室	▲7 ha	草地等への転用
十 勝	▲242 ha	宅地等への転用
合 計	▲347 ha	

#### □ 要整備森林※の変更

・指定: 該当無し、解除: 2計画区、2地区(4箇所)

計画区	区分	変更内容
渡島檜山	解除	1地区(4箇所) 10.18ha
日高	解除	1地区(2箇所) 13.56ha

#### ※ 要整備森林

特定保安林の機能の確保を図るため、造林、保育、伐採その他の森林施業を早急に実施する必要があると認められる森林。

特定保安林は、指定の目的に即して機能していない保安林のうち、森林施業を早急に実施する必要があると認められるものとして農林水産大臣が指定(民有林のみ)。

### 3. 地域森林計画変更計画(案)について

#### 地域森林計画変更計画(案)の概要

##### □ 林道の開設及び拡張の変更

・開設:5路線追加、拡張:29箇所追加

計画区	区分	変更内容
渡島檜山	開設	1路線追加(1.0km増)
	拡張	2箇所前期計画に追加(0.1km増)
日高	拡張	1箇所追加(0.1km増) 2箇所前期計画に追加(0.1km増)
宗谷	開設	1路線追加(3.6km増) 1路線前期計画に追加(3.5km増)
	拡張	1箇所追加(5.6km増)
網走西部	拡張	2箇所追加(0.2km増)
網走東部	拡張	1箇所追加(0.1km増) 3箇所前期計画に追加(0.1km増)
十勝	開設	2路線追加(3.4km増)
	拡張	17箇所追加(1.2km増)